



PICHTRについて



平成27年8月

PICHTRの概要

太平洋ハイテクセンター(PICHTR: Pacific International Center For High Technology Research)として、ハワイ及び太平洋島嶼諸国へのクリーンエネルギー普及等を目的として、設立された非営利法人。現在は主たる事業として、Energy Exceclerator Programを通じたクリーンエネルギーに関するベンチャー企業の育成を実施。



設立: 1983年

本部: ホノルル

役員: デニス・テラニシ理事長(米日カウンセラー理事長)、豊田理事(日本エネルギー経済研究所理事長、経産省出身)、湯原理事(東京大学教授、三菱重工出身) 等※1

資金: 米エネルギー省(DOE)、米国防総省DODより資金を拠出※2

事業: Energy Exceclerator Programを通じて、ベンチャー企業に以下のノウハウを提供し、育成。

- ・クリーンエネルギーに関する技術
- ・ファイナンス
- ・事業計画策定
- ・事業評価
- ・市場展開(特に米国市場、シリコンバレーとのつながりも近年深化) 等

※1 理事メンバー8名の内、日本人の理事は2名。

※2 日本政府は1986年から2006年まで、ODA予算総額1327万ドルを拠出。ODAの対象外となったため、現在は拠出なし。

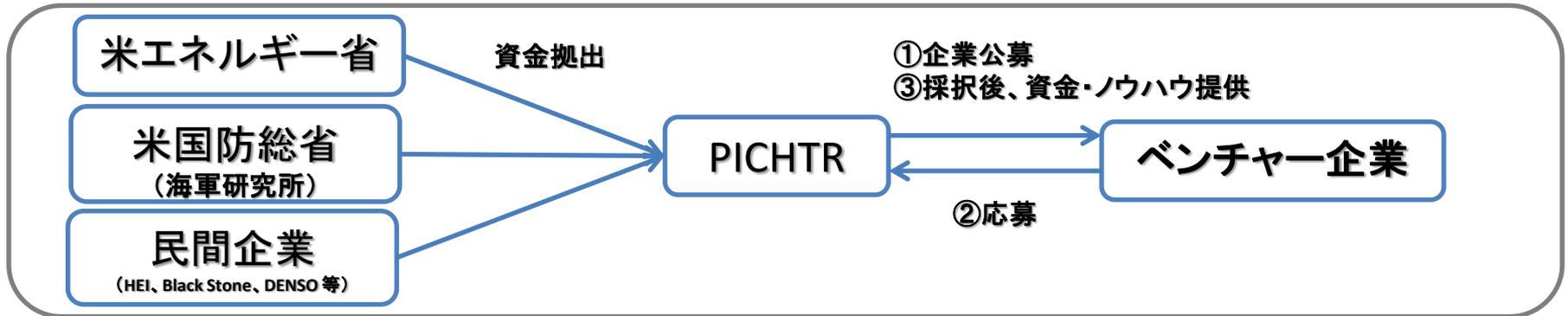
PICHTRの経緯

- 1982年 スパーク・マツナガ米連邦上院議員が日米共同研究、共同事業の促進を提唱。これを受け、ジョージ・アリヨシ・ハワイ州知事がPICHTR設立を表明
- 1983年 ハワイ州議会がPICHTR設立に係る法律を採択。同年設立。
- 1986年 中曽根・レーガン会談において、日米グローバル・パートナーシップの一環として、日本からのPICHTRの支援が決定。日本より87年から06年まで総額1327万ドルを支援。太平洋島嶼国地域での再生可能エネルギー離村電化プロジェクト、電気・水道・土木等インフラ関連の技術者の人材育成等を実施
- 2009年 ハワイ・沖縄クリーンエネルギー協力きっかけづくりに関与(PICHTR理事から仲井間知事に書簡を送付)
- 2013年 DOEが9百万ドルを拠出し実施したハワイのクリーンエネルギー分野のベンチャー企業支援事業をサポートした経験(2008～)を踏まえ、Energy Exceclerator Programを通じたベンチャー企業育成を開始

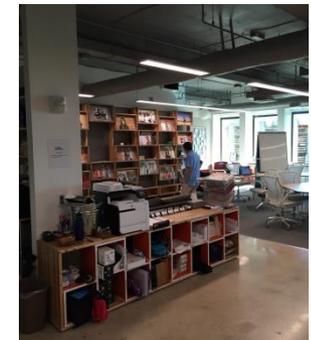
Energy Excelerator Programの概要



- ・ベンチャー育成プログラムとして、2013年1月に立ち上げ
- ・2013年8月、米海軍研究所がEnergy Excelerator Programに3000万ドル拠出



対象分野



Energy Excelerator Program Office@ホノルル

プログラム

<一例>



Energy Excelerator Programの実績



<2013~2015年第1四半期 実績>



採択したベンチャー企業は32社



Energy Exceleratorが投資した資金



集められた資金総額



収益総額

—多様な企業を育成—

 **stem** —蓄電池を活用した系統安定化技術を開発

 **AMBRI** —低コスト、長寿命の蓄電池を開発

 **Ibis NETWORKS** —確実なエネルギーコスト削減を可能とするエネルギーマネージメントシステムの開発

 **terviva** —バイオフィューエルに活用可能な新たな穀物の開発

成功事例

<蓄電池を活用した系統安定化技術を有する企業>



2013年 2014年のEnergy Excelerator参加企業に採択される
2014年 1500万ドルの資金調達に成功
2015年 再生可能エネルギー導入拡大のためのハワイ電力との蓄電池プロジェクトを実施
カリフォルニアでの85MWの蓄電池導入案件を成約



<低コスト、長寿命の蓄電池技術を有する企業>



2013年 2014年のEnergy Excelerator参加企業に採択される
2015年 オアフ島の商業施設に2基のマグネシウム液体電池(蓄電池)を設置



2015年の活動

- ・2015年6月、Energy ExceleratorはシリコンバレーのGoogleオフィスで起業家と投資家の交流イベントを実施
- ・2015年のベンチャー企業からの提案は200を超え、30の優良企業を採択予定(15年9月)